

前橋市立図書館だより

令和4年(2022年)2月 第381号

日本名作映画集『銀座化粧』を上映

『銀座化粧』

銀座で働きながら、一人息子を育てている主人公を中心に、様々な女の人生を描いた作品

【出演】田中絹代、香川京子

【製作年】1951年



DVD 上映会
「ぷちシネマ」

【日時】2月17日(木)午後2時~3時27分

【会場】前橋市立図書館本館 3階視聴覚室

【対象】一般、先着20人

【申込】2月8日(火)午前9時から電話で受付
電話 027-224-4311

雑誌スポンサー募集

■広告の掲載もできます■

図書館では、雑誌を年間購入し、図書館に提供していただく雑誌スポンサーを募集しています。

企業や団体の場合は提供雑誌の新刊カバーと雑誌架に広告を掲出できます。申し込みは本館へ。

詳しくは当館ホームページをご覧ください。

【対象】企業や団体、個人

(広告掲出は個人の方は除きます)

【スポンサー期間】決定の翌月から年度単位。

翌年度以降継続も可能です。

【費用】雑誌代(1万円前後)



■前橋市立図書館 高等学校連携事業■

建築、風景、刺しゅう、動物…。前橋女子高校の生徒が“かわいい”“色が素敵”など、直感で選んだジャケット(表紙)の本を集めました。眺めるだけでも楽しめるコーナーです。

今まで読んだことがないジャンルの本に出会えるかもしれません。コーナーの本は借りられます。ぜひご利用ください。

ジャケットを
楽しむ

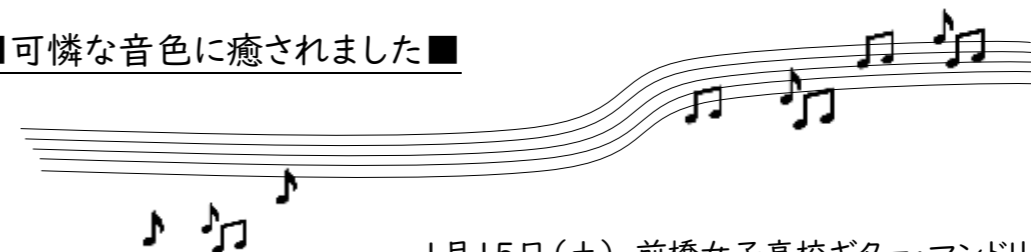
【設置場所】

前橋市立図書館 本館

【コーナー設置期間】

2月1日(火)~27日(日)

■可憐な音色に癒されました■



前女の
みなさんと

1月15日(土) 前橋女子高校ギター・マンドリン部演奏による『夜の図書館で聴くギターとマンドリンの音色』が開催されました



お疲れさまでした



長期インターンシップとして図書館業務に携わった共愛学園前橋国際大学3年生の加部さん。

1月25日をもってインターンシップ期間を終えました。

「本の装備、ネットワーク業務など、多くのことを経験させていただき、とても勉強になりました。

また、読み聞かせやイベントにも参加させていただき、地域の方々とかかわることができたのが良かったです。4カ月間、ありがとうございました。」

慣れないことの連続で大変だったと思いますが、いつも笑顔で業務にあたってくれました。

図書館での経験がどこかで生かされることがあれば嬉しく思います。

■ブックキャンペーンで命の大切さを考える■

命の大切さを考え、自殺を防ぐためのブックキャンペーンを行います。

本館に特設コーナーを設置し、自殺予防に関連した本の貸し出しとリーフレットの配布などを実施。

自殺を防ぐには、社会全体で支え合い、孤立や孤独をなくすことが大切です。自殺を身近な問題として受け止め、命の尊さを再認識しましょう。

■設置場所

前橋市立図書館本館 1階 特設コーナー

■設置期間

2月15日(火)から3月13日(日)



■永明公民館停本所のご利用は3月31日まで■

図書館永明分館新設に伴い、永明公民館停本所が閉鎖します。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用制限を行っております。詳しくはお問い合わせください。

新着 図書

『世界異界神話』

篠田知和基著／八坂書房

この世とあの世のあわい、神々の世界や死者の世界とは異なる「もう一つの世界」。

ギリシャ神話の英雄たちの異境訪問譚、この世に戻り出た亡霊譚など、世界の神話・伝説・文学を涉猟し、「異界の神話学」を読み解く。



『お取り寄せできる最高のシャンパン』

Le meilleur Champagne

世界文化ブックス 世界文化社(発売)

シャンパンの基礎知識や魅力を写真、マンガやイラストを用いて紹介。さらに、シャンパーニュ地方をエリア別に分けて、情熱をもってシャンパンづくりをしている14メゾンを紹介。



『羽生善治のみるみる強くなる将棋入門』

取る・攻める・成る・詰める 寄せる・囲う 改訂版

羽生善治監修／池田書店

「すぐわかる、すぐ勝てる」をコンセプトに、将棋を指すために必要な知識を厳選。部分図を多用し、基本からわかりやすく解説。

居飛車と振り飛車の戦い方の例を加筆するなどした改訂版。



図書館の休館日(祝日の場合は開館、翌日に休館)

前橋市立図書館本館、上川淵・下川淵・桂萱・総社・元総社・南橋・大胡・富士見・総合教育プラザ分館	月曜
城南・芳賀・東・清里・宮城・粕川分館	木曜
前橋子ども図書館	第4水曜

前橋子ども図書館

☎027-230-8833



新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大により、まん延防止等重点措置(警戒度レベル2)の期間中は、できるだけ短時間の利用をお願いします。当分の間、イベントを休止し、机・いすの利用を一部制限します。

●中央公民館と共催企画「春の子どもフェスティバル」

日時=3月31日(木)午後1時~3時

場所=中央公民館ホール

対象=小学校低学年の親子20組(抽選)

講師=たこさんのおはなしや

内容=ワークショップでオリジナル怪獣をつくろう!

読み聞かせ付

申込=2月28日(月)までに子ども図書館へ



段ボールで作ったオリジナル海獣

●本の福袋「OO袋」

袋に入れたまま本を貸し出し、自分では選ぶことのない本と出会える本の福袋「OO袋」を3月24日(木)から開催します。



①「OO袋」

子ども図書館所蔵の本からテーマ・対象年齢を決め、3冊または5冊選びます。同館窓口で配布する用紙とメッセージカードに記入して、窓口へ持参してください。

申込=2月22日(火)~3月21日(月)

②「オーダーメイドOO袋」

子どもの好みや年齢に合わせて、子ども図書館スタッフが選んだ本を5冊セットにして貸し出します。同館窓口で調査カードに記入してください。

対象=15歳以下の子を持つ保護者

先着10人

申込=3月1日(火)~3月15日(火)



編集よもやま話

母方の曾祖父は明治期の巡査(管区)、一家で県内を転動していたいわば転勤族です。

祖母は中でも明治村(現在の吉岡町)での生活が一番楽しかったようで、子どもの頃はよく話を聞かせてくれました。

先日、当館二階の県内資料室をふと見ると、「吉岡町史」があり、調べると確かに交番勤務をしていた曾祖父の名前が……。母に伝えたところ、公文書で、しかも、名前までしっかり残っていたことに感激し喜んでいました。

昔の資料にこれだけ喜ぶ人がいる。私たちは、後世のために貴重な資料をしっかりと保管する。改めて図書館の使命を感じ得ました。

この話には続きがあります。後日、吉岡町立図書館へ行き、司書の方にこの話をしたところ、当時交番があった場所を詳しく教えてくれました。帰りに実際にそこで佇み、百年前に女生生だった祖母が見た風景(榛名山、神社、お寺、造り酒屋等)を祖母の写真と共に思いをはせました。少しは孝行ができただかな?

(M・K)

